

TEKUTEKU

Produced by TEKUTEKU編集部

TEKUTEKU 第2幕 TEKUX2 創刊:「TEKU×2」テーマ“津軽を探そう”

「テクテク」はどんな雑誌？

街の皆さんの声が、大切な情報源。

TEKUTEKUの初刊は2003年、以来1年に1冊の発刊ペースで2015年8月に発刊した11号をもって総刊数12冊(5.5号あり)を数えました。

TEKUTEKUは地元のみなさんからのアンケートや貴重な情報、企業・商店等多方面からの声を吸い上げて、それらのレアな興味ポイントを絞り込み、「知りたい」「感じたい」「伝えたい」等を、オリジナリティあふれる企画で刊行してきました。

「週間書籍ランキング」(陸奥新報)では約2週～1ヶ月は“1位”を保持

この順位は、およそ大手書店の売り上げランキングになりますが、書店での販売が行われたVol.2以降、すべてのTEKUTEKUは上位にランキング。発売日からおよそ2週間から1ヶ月にかけ、1位を保持し続けたことも。書店によりバラツキはあるものの、すべての号において高販売を続けています。

「TEKUTEKU」から「TEKU×2」へ。弘前から津軽へ。

「TEKUTEKU」のタイトルで発刊してきた雑誌は、11号(2015年8月発刊)をもってとりあえず終了という形をとらせていただきましたが、今号(2015年12月発刊予定)からは「TEKU×2」の新タイトルで続きます。また、TEKUTEKUの取材・掲載対象エリアは主に弘前市でしたが、「TEKU×2」から「津軽を探そう」のテーマのもと、津軽圏に拡充を図っていきたくと考えています。

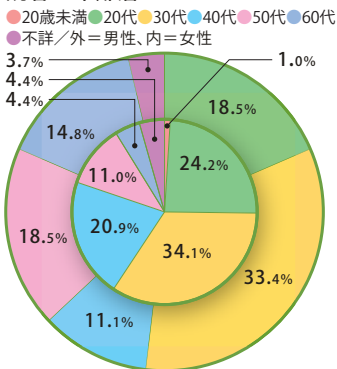
理由のひとつとして弘前は藩政時代、津軽の中心都市でしたが、今に至っても背景には農林水などの第一次産業を筆頭に、広く津軽圏における歴史・文化など多くの関連や相互依存などがあります。

誌面で華やかに表現されるサービス・小売などの“主人公たち”の背景にある生産者や素材の歴史などは今までのTEKUTEKUでは“強く”はふれてはきませんでした。津軽圏に根を張り例えば食の舞台を影でささえる職人たちや文化なども含め紹介していく「TEKU×2」を刊行していくことを目指しています。

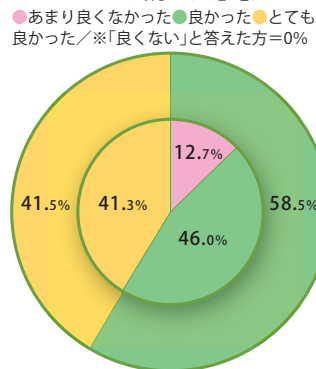
読者アンケートに見るTEKUTEKU(グラフの有効回答数=320名、Vol.6号アンケートより)

「TEKUTEKU」は、20代後半～30代コアターゲットに、掲載内容を決定し、結果ターゲット層を中心とした読者を確実に獲得しています。また、号を重ねるごとに男性比率、年齢幅も拡大しています。※外円=40歳以上、内円=40歳未満

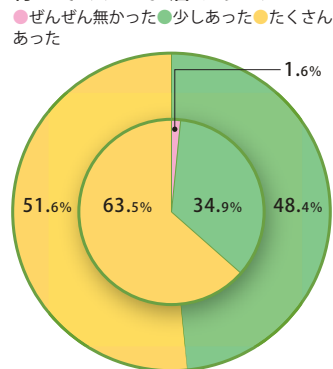
読者の年齢層



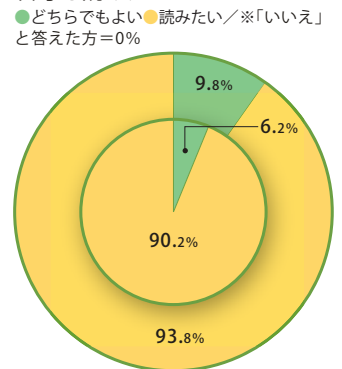
TEKUTEKUを読んだ感想は？



行ってみたいお店はあった？



次号も読みたい？



<p>創刊号 SOLD OUT 2003年 9月14日発行 (80ページ) 無料</p>	<p>Vol. 2 SOLD OUT 2004年 10月16日発行 (108ページ) ¥350</p>	<p>Vol. 3 2005年 9月23日発行 (132ページ) ¥350</p>	<p>Vol. 4 SOLD OUT 2006年 10月6日発行 (100ページ) ¥400</p>	<p>Vol. 5 2007年 9月8日発行 (116ページ) ¥500</p>	<p>Vol. 5.5 2008年 11月8日発行 (96ページ) ¥450</p>
<p>Vol. 6 2009年 11月28日発行 (100ページ) ¥500</p>	<p>Vol. 7 2010年 11月13日発行 (94ページ) ¥600</p>	<p>Vol. 8 2011年 5月28日発行 (90ページ) ¥600</p>	<p>Vol. 9 2011年 11月26日発行 (94ページ) ¥600</p>	<p>Vol. 10 2013年 11月23日発行 (100ページ) ¥600</p>	<p>Vol. 11 2015年 8月8日発行 (116ページ) ※大判地図付き ¥864</p>

TEKUTEKU編集部

TEKUTEX Vol.1 創刊号:掲載企画

熱つつ飯(まま)さ…!

“熱つつ飯さ筋子”とは津軽の食事を代表する一例。最近あまり使われなくなりましたが、現在でも青森県は“筋子消費日本一”の“輝かしいレッテル”を貼られていることを考えると、熱い飯と筋子の関係は青森県津軽圏の愛すべき食文化なのだろう。他にこのような“熱い飯と愛すべきお供”はないのだろうか？ みなさんの声が聞こえてきます。バラエティー豊かな「これぞ私の“熱つつ飯さ…!”」。

ダシから

「ダシ」は基本五味の一要素である「うま味」。日本では聞き慣れている言葉「ダシ」は、海外ではすっきり当てはまる言葉はないようで。昨今、青森県では塩分を控えるために“ダシカ”による調理に力を入れているよう。しかし、ダシの素材はいろいろ。鰹節や昆布ばかりではありません。料理素材自身も素晴らしい「ダシカ」を持っているのです。

カウンター物語

年季の入ったお店の顔とも言える「カウンター」。今日のお客をもてなすために磨くあげるのが日課。新しいメニューを載せた初々しくも誇らしい思い出。流れた時の分だけドラマが生まれたはず。

癒してテンダー

テンダーとは「バーテンダー」のテンダー=優しい。料理屋、バーやカフェで楽しむカウンター越しのオヤジ・マスターとの会話。はたまた行き

つけのお店で過ごす店主との穏やかな時間。そんな時間が楽しい。なぜなら彼らは“テンダー”なのです。鏡のように接する彼らの“テンダー”とは？ 心の中で囁きます。「だから、癒してテンダー」

愉快地冬

「わいは！のつ降ったな！あつあ、堅で雪だば」。こんな会話が交わされる雪の季節がまたやってきます。「わだっきゃ、生まれ変わったら、沖縄いじゃ」などと、しょうもない会話も飛び交いますが、雪の季節の楽しさ忘れてませんか？雪の国だからこそその面白さ、あります。

社長の道具

いつ購入したのか、いつから集め始めたのか。その“社長の道具”は思い出では済まない、彼らのマスターピース。「何がきっかけで？」

夫婦百語ももがたり(巻ノ巻)

バランスの良い仕事分担、絶妙な呼吸。無駄のない言葉や動き。人生のタッグを組むことになった二人がさまざまな喜びと苦労と分かち合う日々。百の夫婦に百の物語。



媒体

- サイズ=A4
- ページ数=100ページ(予定)
- 売価=800円(税別)
- 印刷部数=約8,000

ページ構成

- 表紙 ① ●コンテンツ ① ●本編企画 ⑦
- Information ③ ●プレゼント ① ●地図 ⑤
- 1ページ広告 ⑫ ●煙突広告 ④
- 広告掲載ページの詳細は「割割」参照

内容・広告に関するお問い合わせは

- TEKUTEKU編集部 /
- TEL.0172-31-2136 ●FAX.0172-32-0081
 - 弘前市山下町2-12パインビル2F
 - E-mail: fsupply@ybb.ne.jp ●http://h-tekuteku.com

● 広告のお申し込み・制作依頼は 11月14日(土)まで / ● 広告のデータ入稿は 11月30日(月)まで

データ搬入の留意事項

- データ搬入は、IllustratorCS5、Photoshop.epsにてお願いいたします。FontはIllustratorの場合アウトライン化を厳守して下さい。
- 1ページ広告=Y213(裁切6mm内)×T303mm(トンボ無し、左・右ページ注意、裁切線明示)
- ※P50辺りでは3mmほど内側で裁断されます。ご注意ください。→字面は4mm内側
- 煙突広告の場合は、Y60×T270mm(トンボ無し、裁切線明示)※ご質問等は、TEKUTEKU編集部までお願い致します。

広告料金表

(消費税別)

掲載料金				制作料金				合計(掲載料+制作料+撮影)	
掲載場所	頁数	サイズ(T×Y)	料金	基本制作料	ペイドバブ	イラスト	撮影単価	合計(目安)	備考
表4	1ページ	240×182	120,000	50,000		難易度に	24,000	194,000	撮影1点
表2	1ページ	297×210	120,000	50,000		よって	24,000	194,000	//
表3	1ページ	297×210	100,000	50,000		異なります	24,000	174,000	//
1ページ	1ページ	297×210	80,000	50,000		※注2	24,000	154,000	//
見開き	2ページ	297×420	140,000	80,000			35,000	255,000	//
煙突	2/7ページ	270×60	40,000	20,000	(取材料)		15,000	75,000	//
ペイドバブ※注1		場所による	場所による	場所による	20,000				
撮影料金(目安として)※注3		1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点~
撮影割引率		100%	70%	60%	50%	45%	40%	37%	34%
撮影単価(1頁の場合)		24,000	16,800	14,400	12,000	10,800	9,600	8,880	8,160
合計では		24,000	33,600	43,200	48,000	54,000	57,600	62,160	65,280

※注1 / ペイドバブは、「記事風」広告です。掲載頁は、「本文」に限ります。またペイドバブ取材は当編集部、または制作会社あたりです。取材(撮影含む)が遠隔地の場合、別途交通費をお見積りさせていただく場合もあります。

※注2 / イラストは「好み」が大きく影響する表現方法です。手法(インク・顔料・ポスターカラー・水墨画・ブラシ他)、大きさなど、クライアントのリクエストで、作業が大きく左右されます。よって、リクエスト内容により料金を決定させていただきます。作業は、基本的にラフ→訂正→再確認→本番の手順で進めさせていただきます。

※注3 / 一般広告や特にペイドバブでの撮影点数は多数になることが予想されます。撮影単価は、撮影点数・場所・時間で決定させていただきます。

■写真の指定を特に望む場合は、別途料金(レンタルまたは撮影)となります。例えば、自然景観、人物、車、料理などの特定写真。撮影も同様です。

※写真レンタルは、5,000円~50,000円を目安(希望内容によって異なる)に、お考え下さい。撮影は上記料金表をご参照下さい。また、モデルやロケーション等、特殊な撮影条件をご要望の場合は、別途お見積り致します。